



72時間耐久サッカー SUN 川根スタンドアップ!プロジェクト ギネス世界記録® 認定!!



▲ギネス公式認定員から世界記録認定証を受け取る石原代表(右)

この取組は、選手が交代しながら72時間途切れることなくサッカーを続け、当初のギネス世界記録®(南米チリ)の2357人の更新を目指して行われました。ギネス公式認定員が記録達成を発表すると、会場では大きな喜びの歓声が上がりました。

記録達成を受け、このイベントの企画を行ったSUN川根スタンドアップ!プロジェクト代表の石原一則さん(崎平区)は、「皆さんと一丸となって高い壁を乗り越えることができた。今後も地域を盛り上げる契機になれば嬉しい」と話しました。

3月10日(日)、旧中川根第一小学校のグラウンドにて、昨年の11月に開催された「72時間耐久サッカー」ギネス世界記録®の審査結果発表会が開催されました。

当日は会場の他に、近隣市町ともオンライン中継で結び、参加選手や町民が見守る中、2391人の参加が認められ世界記録を更新しました。



◀司会を務めたのは、この企画を提案したパフォーマンス集団Marco.さん率いる「球舞」のドラム担当「AKI(アキ)」さん。また、今後も、毎年様々な企画を続ける方針が発表されました。



▲ギネス世界記録®認定の発表に喜ぶ参加選手や町民の皆さん。

名波浩さん祝福スピーチ



▲アンバサダーを務めた名波浩さんも会場に駆けつけ祝福しました。

昨年11月の当日は日本代表の海外遠征で参加できませんでしたが、スタッフ・関係者の皆さんや地元の皆さんの力により実現できたことを嬉しく思います。当初は記録に対する緊張感があるのかなとも思いましたが、後日、動画で皆さんがサッカーを純粋に楽しんでいる姿を見て安心しました。私の出身地 藤枝市は、サッカーの町として有名ですが、川根地域もこのイベントを通して、サッカーの町として謳われるように、これからも子どもたちに繋いでいってほしいと願っています。今回の経験は必ず次に繋がるものだと思います。

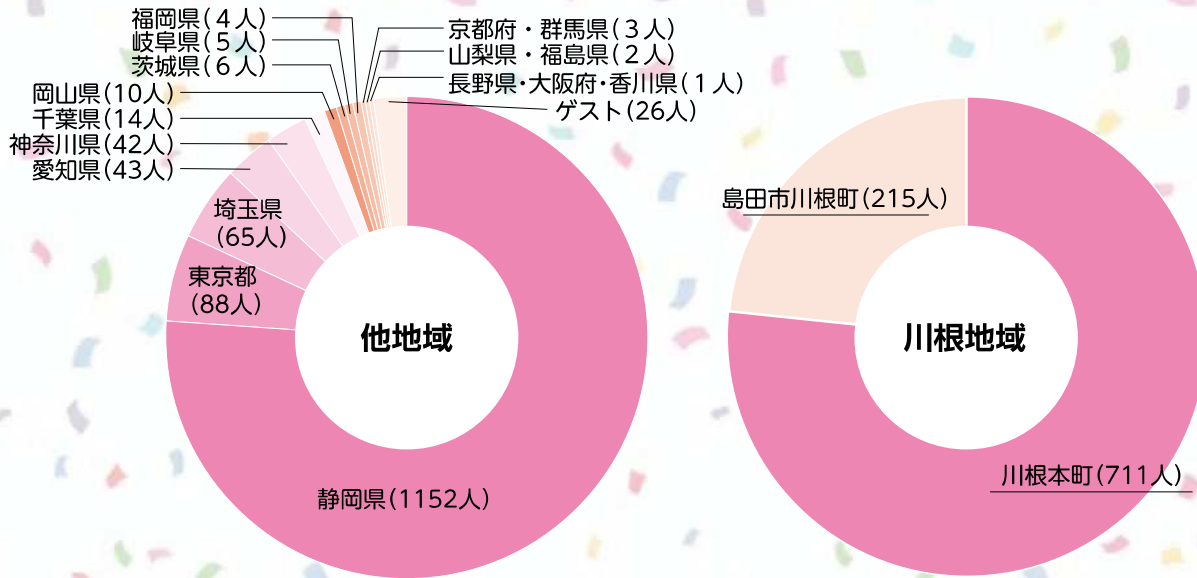


▲世界記録達成を記念に、町内の小学校・中学校・高校にサッカーボールが贈られました。

当日、ギネス世界記録®認定を見届けるために会場に集まった参加選手の皆さん



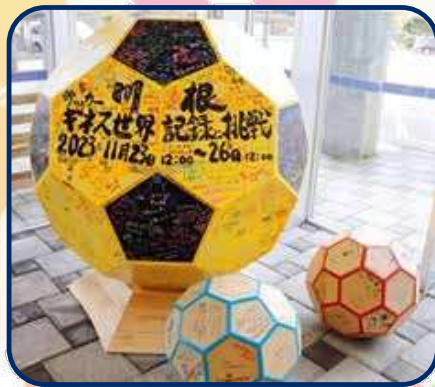
川根本町民の約8人に1人が、 ギネス世界記録®ホルダー



上記グラフから、三川根で合計**926人**の参加がありました。
 更に、県内外含めその他の地域から**1468人**の参加者が訪れました。
 また、川根本町民**※5,806人**の内、各地区から**711人**の参加があったことから、町民の約8人に1人がギネス世界記録®を保持していることとなります。
 ※令和6年4月1日時点で算出しています



▲本番で使用したユニフォームと世界記録認定証。役場本庁舎1階ロビーに展示しています。



▲町内の大工さんが手がけ、プロジェクトに参加した選手が記したサイン入りサッカーボール。役場本庁舎1階の町民ギャラリーに展示してあります。

「今後も奇想天外な企画を考案していきます！乞うご期待です」とプロジェクトの広報担当者は話してくれました。

SUN川根スタンドアップ！プロジェクト公式SNSで情報を発信していきます。



▲ X (旧 Twitter) はこちらから



▲ Instagram はこちらから

当プロジェクトに係る過去の取組についてはバックナンバーで紹介しています



2023年8月号
ホームページ
はこちら



2024年1月号
ホームページ
はこちら

